

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	分からない	改善目標・工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	11				<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの安全を第一に、危険な箇所は撤去して、安全に過ごすことが出来る環境が整えられている。一人一人の特性に応じた部屋の設定がされている。 ・場合によっては、パーティションで部屋を分割して、スペースを有効利用している。
	②	職員の配置数は適切であるか	6	5			<ul style="list-style-type: none"> ・安全面に配慮して、子どもと職員の数が十分確保されている。子どもたちの安全を第一に、充実した活動内容を設定して、一人一人にあった丁寧な支援が行われている。正規スタッフが学生スタッフへの丁寧な説明から、連携した支援が行われていると思う。 ・子どもの人数に合わせて、職員・スタッフ数も変化させ、行動スケジュールの内容に応じて、増減させている。 ・基準の配置人数は満たしているが、不足している時もあると感じる
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	10	1			<ul style="list-style-type: none"> ・エレベーターの設置や段差の削減、手すりの設置等、誰でも過ごしやすい環境が整えられている。 ・車に車いすを積んだり、足を怪我した子どもには、建物内のエレベーターを使用するなどして対応
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	10	1			<ul style="list-style-type: none"> ・普段の日報や、スタッフ間の連絡調整が丁寧に行われているため、支援が一貫して行われていると感じる。不安な点や疑問点等も相談し、改善案を提案してくれるなど、個々の子どもへの支援が改善調整されていると思う。 ・問題意識を持って、業務改善提案を行なっている。 ・支援計画書を職員全員に共有しており、支援終了後は支援の振り返りや悩み等を共有しやすい環境づくりを行っている
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	9			2	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者が子どもを迎えに来る際、必ず口頭による体調管理等、聴き取りを行なっている。 ・毎年保護者へのアンケートを実施している。 ・保護者面談時にニーズの把握をしている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	10			1	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページで毎年公表している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	10			1	<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリングなど、第三者による子どもの成長チェックを定期的に実施している。 ・幹事監査などを実施して事業評価をしている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	10	1			<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に、テーマをきめて、研修会・勉強会・セミナーを実施している。 ・外部研修への参加以外にも、事業所内でのケース会議や事例検討会を実施している
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	11				<ul style="list-style-type: none"> ・保護者との連絡調整やモニタリング、面談等、保護者や本人のことについて、スタッフが日常的に聞き取りを行っていると感じる。 ・保護者からニーズを聞いて、子どもの成長に合わせて、計画作成を実施している。
適切	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	9	2			<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントツールを使用しながら時には、標準化されていないアセスメントツールを使用することもある。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	11				<ul style="list-style-type: none"> ・担当職員が企画・立案・実行しています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	10	1			<ul style="list-style-type: none"> ・外出先や制作の内容もスタッフが工夫して、子供たちの興味関心に即した内容から展開されていると感じる。子どもたちも生活からきた達成感や喜びを感じて参加しているように見える。 ・子どもたちが飽きないように、さまざまなイベントが計画され、訪れる公園も固定しないように、遠州エリアで東西南北、あちこちの公園へ行くように工夫がなされている。 ・利用児童に合わせて日々活動を変えている

りな支援の提供	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	11				<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが過ごす時間と、その日の天気により、訪れる場所を変更するなど、万が一の場合に備えての予定も組まれている。 特に長期休暇は外出活動を多く設定し、様々な社会経験を積めるよう企画している
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	11				<ul style="list-style-type: none"> 個別の目標等、個々の活動目標と、制作や調理活動などが、相互に関連付き計画が立てられている。 公園で遊ぶ場合も、子どもの体調に合わせて、車内で待機するなど、その都度、臨機応変に対応している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	11				<ul style="list-style-type: none"> 支援前全スタッフが集まり、その日の一日の計画や、子どもの担当、どんな関わり方をして行くかなど丁寧に共有されている。全員で確認しているため、安心して子どもを見ることが出来る。 ホワイトボードに、分乗する車に合わせ、子どもたちの職員・スタッフの写真が貼られ、その日のスケジュールと、子どもたちの体調に関する申し合わせを実施している。 支援開始前にその日支援に入るスタッフが集まり、活動計画、児童の様子、児童の今日の目標等を申し送りする時間を設けている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い気付いた点等を共有しているか	9	2			<ul style="list-style-type: none"> 自分の分からなかったことや上手くいかなかったことは、正規スタッフから説明や振り返りをして頂けるため、次に繋げることが出来る。 連日、夜遅くまで、話し合いの場が設けられています。 日報を作成し、職員間で共有している。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	11				<ul style="list-style-type: none"> 日々、子どものノートに記載し、ヒヤリハット事例を残すことで、記録が蓄積されている。 日報を作成している
関係機関や保護者との連携	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	11				<ul style="list-style-type: none"> モニタリングにより、子どもの成長・変化に合わせて対応している。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	8	2	1		<ul style="list-style-type: none"> 定期的にガイドラインを確認している。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	10	1			<ul style="list-style-type: none"> 施設の担当職員が出席している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	11				<ul style="list-style-type: none"> 学年担任の先生方と、下校時に会話して、その日の子どもの状況を把握している。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	8	1		2	<ul style="list-style-type: none"> 保護者と学校の担任経由で、投薬の変更に際して、情報を入手している。 現在医療的ケア児の受け入れはしていないが、主治医やかかりつけの病院を把握し、連絡できる体制は整えている 医療的ケア時の受け入れはありません。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	10	1			<ul style="list-style-type: none"> 保護者から聴取して、情報共有を行なっている。 保護者に許可をもらい、必要に応じて児童発達支援事業所への見学やかけはしシートの共有している
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	11				<ul style="list-style-type: none"> 移行先が決まった時点で、先方の職員・スタッフとの引き継ぎを行なっている。 支援引き継ぎシートを作成し、保護者、相談員、進路先の事業所等に共有している
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	11	1			<ul style="list-style-type: none"> 定期的な研修や会合に、職員・スタッフが出席している
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5	2	4		<ul style="list-style-type: none"> 公園での外出時には、健常の子どもと関わる機会もある。 イベント開催の場所へ行き、他の施設の子どもたちや職員・スタッフと知り合いになる。 交流の機会は設定していないが、公園やお店等、外で様々な人と自然に関わる機会が多くあると感じる。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	9	1		1	<ul style="list-style-type: none"> 他の施設スタッフとの情報交換会を実施。
㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	11				<ul style="list-style-type: none"> 引き継ぎ時や面談など定期的・日常的に保護者との連絡調整を図り、保護者の意向や本人の意向を踏まえた支援がされている。 ノートによる個別連絡と、お迎え時に保護者に口頭で報告している。 	

	②9	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	8	2		1	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会において、その都度テーマを決めて、セミナーを開催している。 ・ペアトレは行っていないが、保護者支援は丁寧に行っている
保護者への説明責任等	③0	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	11				<ul style="list-style-type: none"> ・問い合わせがあるたびに、担当者からの丁寧な説明が行われている。 ・利用前の契約時に説明する機会を設けている
	③1	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	11				<ul style="list-style-type: none"> ・その場で、すぐ折り返し電話をして、不安を迅速に解消している
	③2	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	11				<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に保護者会が開催され、たまに卒業生を招くことで、卒業後の進路に関して、いくつかの例を具体的に提示している。
	③3	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10			1	<ul style="list-style-type: none"> ・職員・スタッフ間で、情報共有を行い、適切な対応を行なっている。
	③4	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	11				<ul style="list-style-type: none"> ・会報誌以外にも、お迎え時に、子どもたちが制作した作品を保護者に直接提示している。広報誌の発行をしている。、活動写真はインスタグラムで発信している。
	③5	個人情報に十分注意しているか	11				<ul style="list-style-type: none"> ・事業所のSNSに載せる際は、児童の顔出しが大丈夫な家庭を必ず確認し、投稿前に正規スタッフに確認した上で載せている。 ・会報誌やHPに、子どもの写真を掲載する場合は、事前に保護者に確認を取っている。
	③6	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	11				<ul style="list-style-type: none"> ・子どものノートに、その日の出来事を記載して、保護者に連絡している。
	③7	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	3	3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に地域住民・保護者を招いて、収穫野菜や日用品のバザーが行われている。 ・社会情勢的に取り組みが難しかった ・コロナになってからできていない
	③8	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	9	1	1		<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時や保護者会で、職員・スタッフから説明、通達がある。
非常時等の対応	③9	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9	1	1		<ul style="list-style-type: none"> ・建物内の階段ではなく、2階ベランダに設置された避難路(降下パラシュート)を使用している。 ・救命袋を使用した訓練を行っている。
	④0	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	11				<ul style="list-style-type: none"> ・全体の職員研修での虐待防止、身体拘束適正化について行っている、委員会の設置をしている。
	④1	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	11				<ul style="list-style-type: none"> ・身体的拘束を行うよりも、個室に隔離して、他の子どもに影響が及ばないように、配慮がなされている。
	④2	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	10			1	<ul style="list-style-type: none"> ・ランチやおやつの際に、情報が共有されている。 ・現在食べ物アレルギーのある児童の利用は
	④3	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	11				<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットの事例があった場合には、全スタッフで共有し、再発防止や早期発見に努めるようにされている。 ・現場の写真を添付して、視覚的に分かりやすい説明を行なっている。